



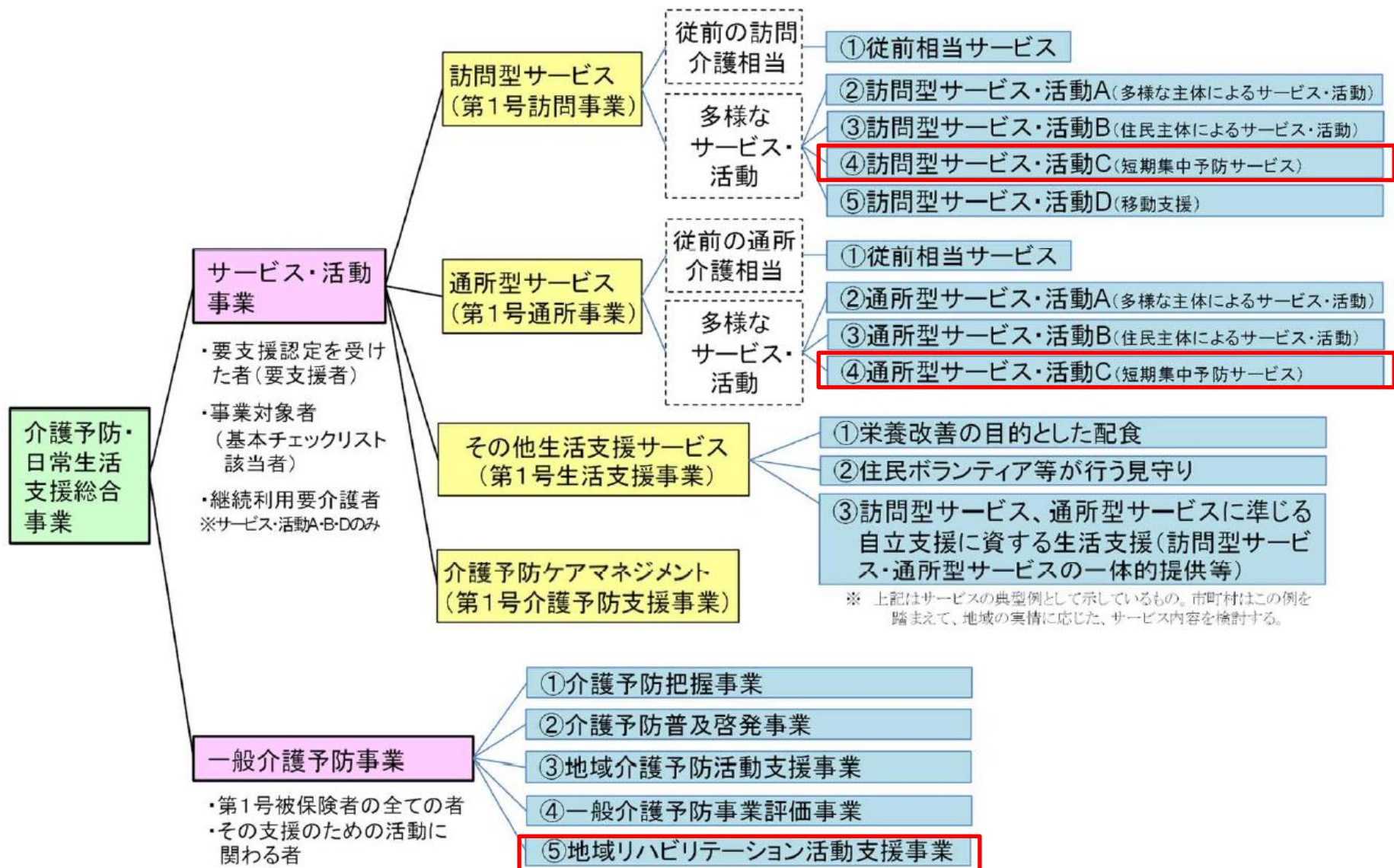
市町村における地域リハビリテーション 関連事業の取組状況等について

本日の説明内容

- 1.介護予防・日常生活支援総合事業について
- 2.県内の訪問型・通所型サービスCの状況について
- 3.県内の地域リハビリテーション活動支援事業の状況について
 - (1) 県内の自立支援型地域ケア会議に関連する状況
 - (2) 県内の通いの場に関連する状況
- 4.地域リハビリテーションに関連する課題と対応について

1.介護予防・日常生活支援総合事業について

介護予防・日常生活支援総合事業の構成



2.県内の訪問型・通所型 サービスCの状況について

サービス・活動C(短期集中予防サービス)の概要

	訪問型	通所型
対象者	特に閉じこもり等の心身の状況のために通所による事業への参加が困難で、訪問による介護予防の取組が必要と認められる者	個人の活動として行う排泄、入浴、調理、買物、趣味活動等の生活行為に支障のある者
内容	居宅を訪問して、その生活機能に関する問題を総合的に把握・評価し、社会参加を高めるために必要な相談・指導等を実施	居宅や地域での生活環境を踏まえた適切な評価のための訪問を行った上で、おおよそ週1回以上、生活行為の改善を目的とした効果的な介護予防プログラムを実施
支援の提供者	保健・医療専門職（医師、歯科医師、薬剤師、保健師、看護職員、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士、歯科衛生士等）	
実施期間	3～6か月（3か月を経過した時点で評価を行い、その結果、サービス・活動の継続が生活行為の改善に効果的であると判断された場合には、最大6か月まで継続することが可能）	

サービスCの実施市町村数・利用実人数

【実施市町村数の推移】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
訪問型	2市町村	3市町村	3市町村	3市町村	5市町村	5市町村
通所型	6市町村	7市町村	8市町村	9市町村	8市町村	8市町村

【利用実人数の推移】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
訪問型	4人	2人	8人	11人	20人	62人
通所型	39人	25人	81人	83人	150人	156人

厚生労働省 介護予防・日常生活支援総合事業(地域支援事業)の実施状況に関する調査結果(R1～R5...確定値、R6...速報値)より

訪問型サービスCの取組事例（令和6年度）

花巻市

市内医療機関からの派遣理学療法士等、および市の管理栄養士・歯科衛生士等が訪問によるアセスメントの支援や体操指導等を実施。

北上市

療法士が自宅を訪問し、生活行為改善のためのアセスメントと助言を実施。

平泉町

介護保険施設にいる医療専門職（PT・OT）が運動器の機能改善を実施。

山田町

理学療法士、作業療法士が自宅を訪問し、運動指導や生活環境改善のためのアドバイスを実施。

洋野町

低栄養予防、改善に向けて直営包括の管理栄養士等が身体や食事摂取の状況を確認し、栄養、調理の指導などを実施。

通所型サービスCの取組事例（令和6年度）①

盛岡市

リハビリテーション専門職が、面談を通して高齢者のセルフマネジメントの定着を図り、サービスを終了した高齢者が多様な社会活動に参加しながら、活動的な生活を送れるように支援するプログラム（リエイブルメントプログラム）を実施。
週1回、3か月間（全12回）。

宮古市

医療法人に委託し、健康運動指導士による運動指導実施。
週1回、6ヶ月コース（4～9月、10～3月）。
1回あたり10名定員。送迎あり。（地区による制限あり。）

花巻市

医療機関内の通所リハビリテーション事業所内で、理学療法士・作業療法士による運動指導、管理栄養士・歯科衛生士・理学療法士（作業療法士）による個別相談・評価を実施。
1回あたり10名定員、10回を1クールとして、年間3クール実施。希望者には送迎を実施。

北上市

訪問型サービスCの利用者を対象に、フレイル予防・改善のための運動・栄養・社会参加支援を組み合わせたプログラムを実施。
週2回、3か月間。

一関市

運動器機能向上プログラム及び口腔機能向上プログラムを実施。
1クール15回（週1回×4か月）。
送迎を行った場合は、片道200円を加算。

通所型サービスCの取組事例（令和6年度）②

矢巾町

医療法人に委託し、理学療法士、作業療法士が主体となって運動、栄養、口腔、認知症予防の内容を実施。
利用者上限は1クール8名として、年3クール実施。

金ケ崎町

金ケ崎町生涯スポーツ事業団へ委託し、健康運動指導士等による、運動器の機能向上プログラムを実施。
1回あたり90分、全24回（しばらくの間利用者なし）。

平泉町

要介護状態になることを予防するため、リハビリ機器を使用した運動器機能向上プログラムと口腔機能向上プログラムの複合プログラムを実施。

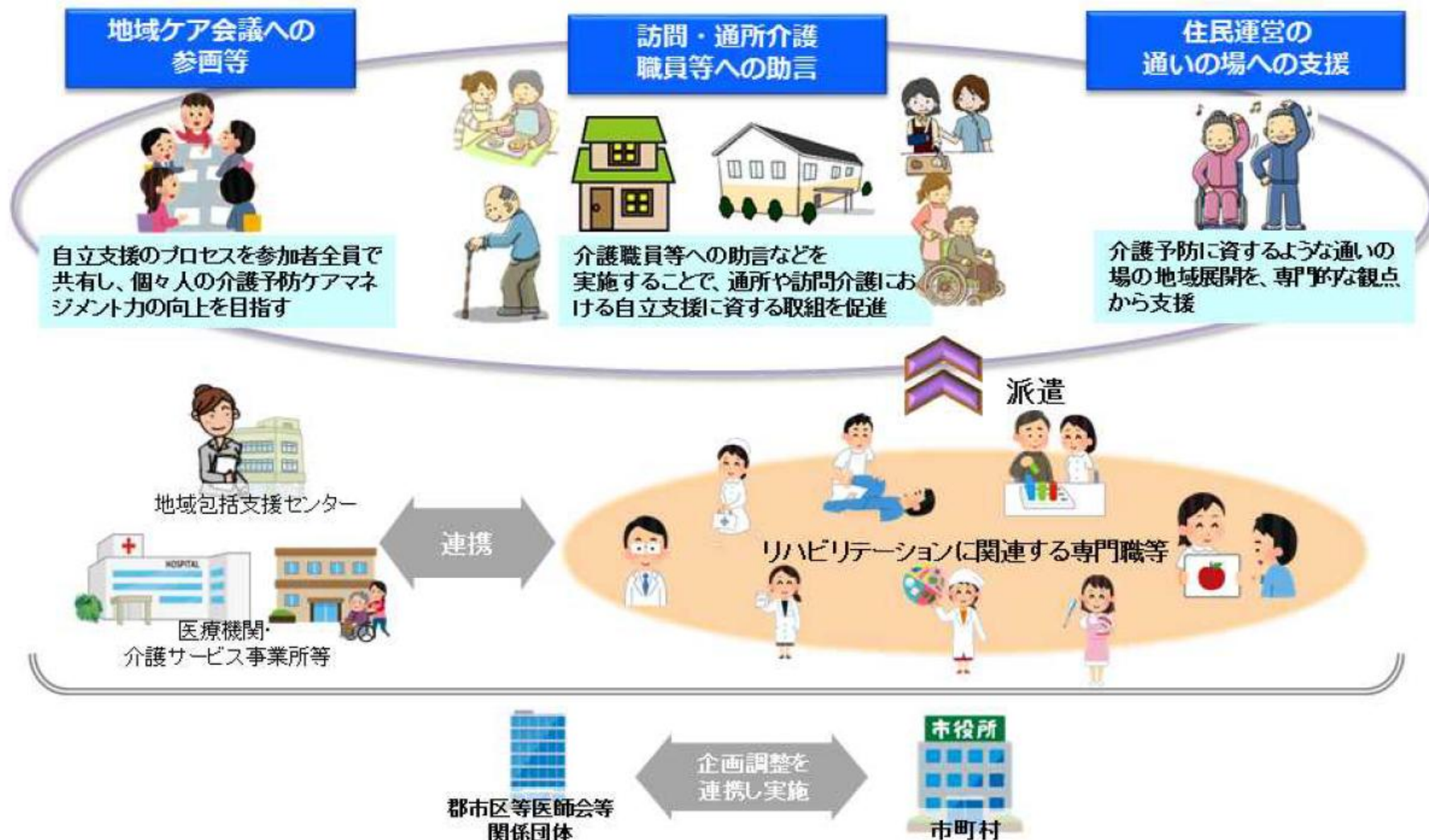
住田町

社会福祉協議会に業務委託し、運動器機能や認知機能に特化したプログラムを実施。
約3か月間（週1回、全12回）。

3. 県内の地域リハビリテーション活動支援事業の状況 について

地域リハビリテーション活動支援事業の概要

- 地域における介護予防の取組を機能強化するため、地域ケア会議、通所・訪問介護事業所、住民運営の通いの場等へのリハビリテーション専門職等の関与を促進
- 市町村は、郡市区等医師会等の関係団体と連携の上、医療機関や介護事業所等の協力を得て、リハビリテーション専門職を安定的に派遣できる体制を構築するとともに、関係機関の理解を促進



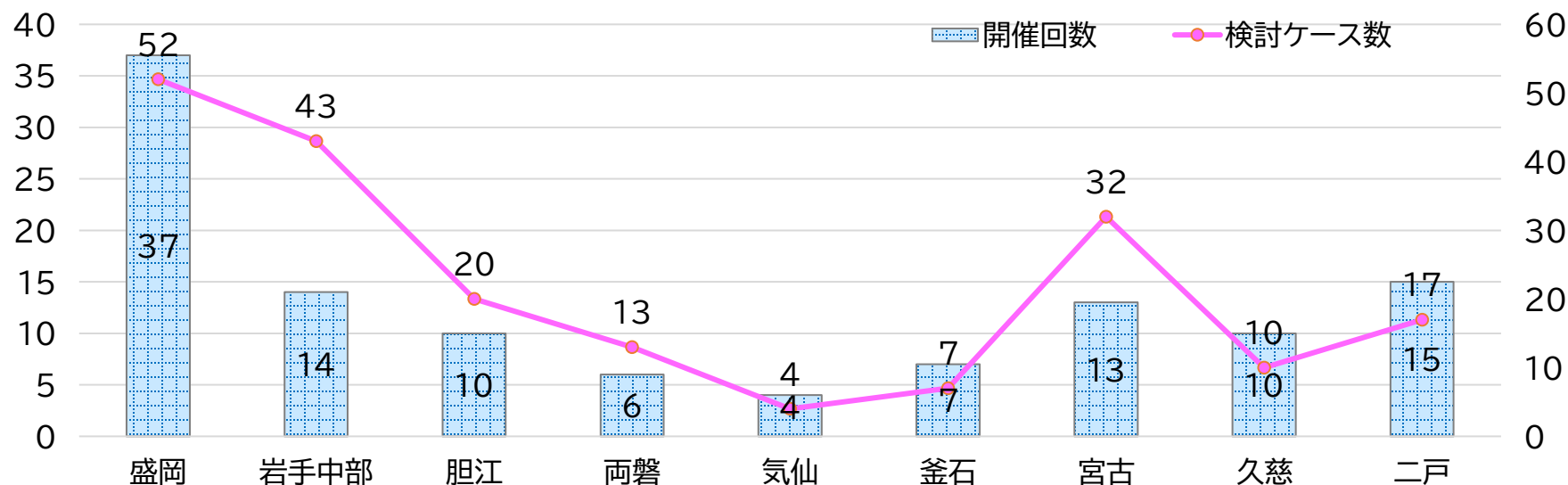
(1) 県内の自立支援型地域ケア会議に関連する状況

自立支援型地域ケア会議の開催状況

【開催市町村数、開催回数、検討ケース数の推移】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
開催した市町村数	24市町村	22市町村	26市町村	24市町村	25市町村
開催回数（合計）	120回	98回	112回	122回	116回
検討ケース数（合計）	－	184件	210件	248件	198件

【令和6年度 開催回数、検討ケース数（圏域別）】



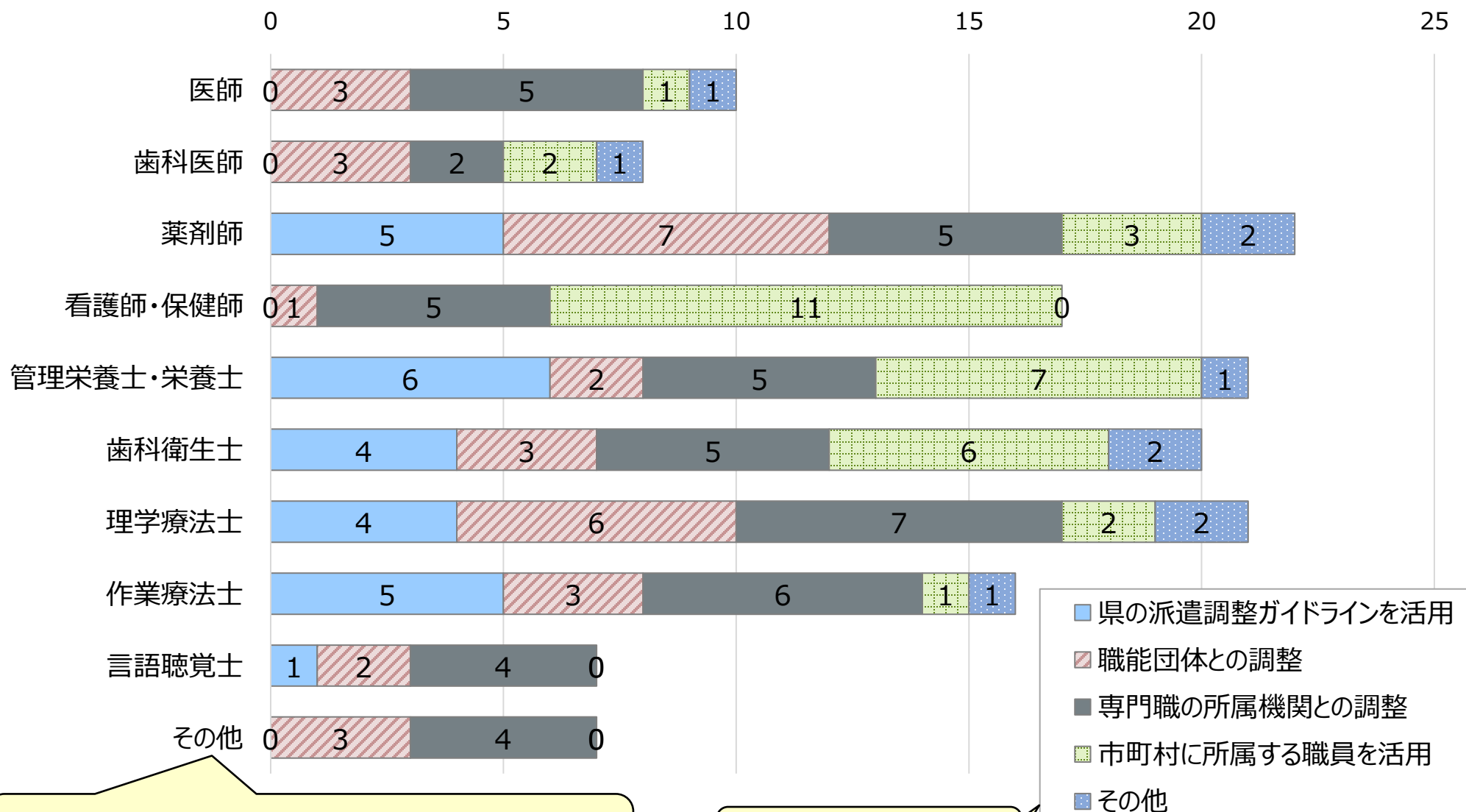
専門職の地域ケア会議への派遣状況(令和6年度・圏域別)

職 種	盛岡	中部	胆江	両磐	気仙	釜石	宮古	久慈	二戸	計
医師	0	0	0	0	0	1	2	0	15	18
歯科医師	0	0	0	0	0	0	0	0	5	5
薬剤師	7	14	4	0	0	7	11	0	15	58
保健師	0	4	0	0	0	1	1	0	6	12
看護師	9	0	4	0	0	1	2	0	15	31
理学療法士	10	14	0	0	0	7	10	0	25	66
作業療法士	7	13	4	0	0	4	13	0	5	46
言語聴覚士	0	0	0	0	0	0	11	0	0	11
管理栄養士 ・栄養士	4	13	4	0	0	7	10	0	17	55
歯科衛生士	7	10	4	0	0	7	9	0	14	51
その他	2	48	0	0	0	9	15	0	8	82
計	46	116	20	0	0	44	84	0	125	435

介護予防・日常生活支援総合事業(地域支援事業)の実施状況(令和6年度実施分)に関する調査結果(速報値)より

地域ケア会議への専門職の派遣調整方法(R6年度実績)

(市町村数)



(主任) 介護支援専門員、生活支援コーディネーター、民生委員、権利擁護支援センター職員

時間単価の委託契約

(2) 県内の通いの場に関連する状況

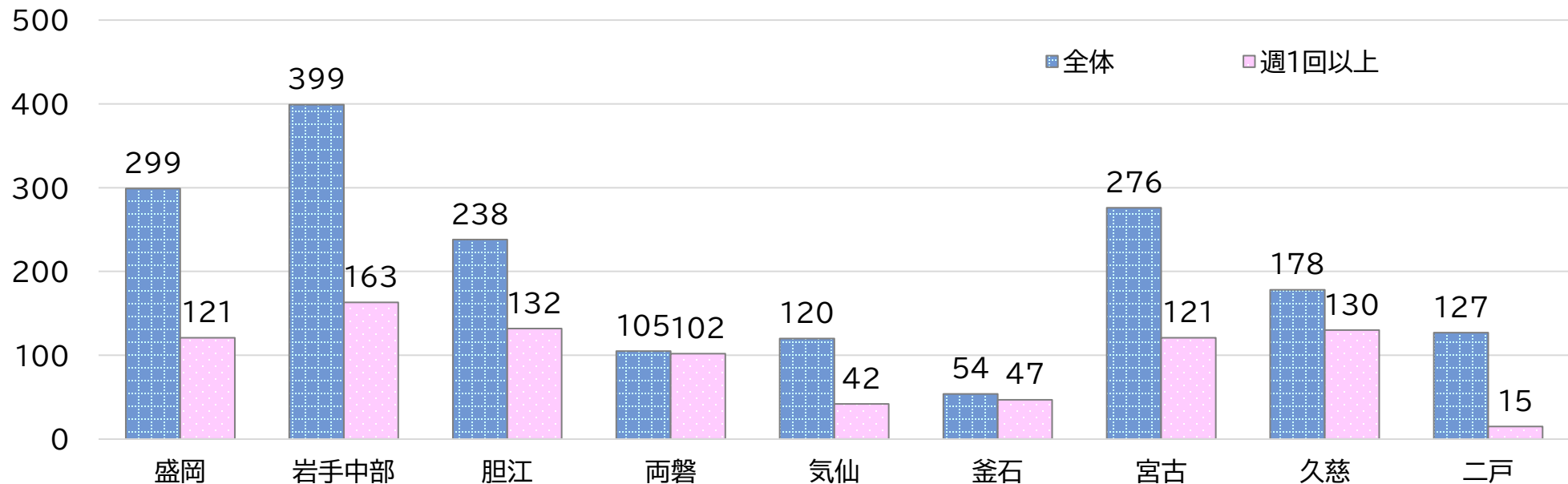
通いの場の箇所数

【箇所数の推移】

(箇所)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
全体	1,743	1,404	1,503	1,473	1,744	1,796
(週1回以上)	649	586	724	755	798	873

【令和6年度 箇所数（圏域別）】



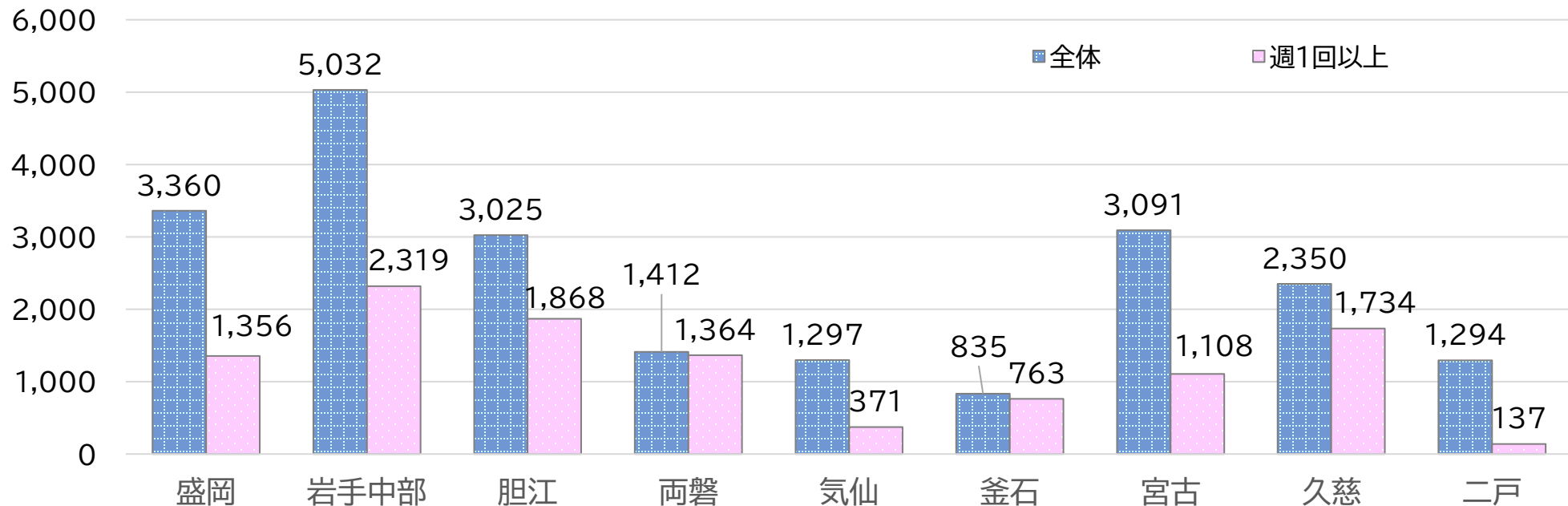
通いの場の参加者数

【参加者数の推移】

(人)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
全体	25,053	17,926	19,036	18,744	21,231	21,696
(週1回以上)	9,659	7,606	9,113	9,490	10,427	11,020

【令和6年度 参加者数（圏域別）】



通いの場への参加率

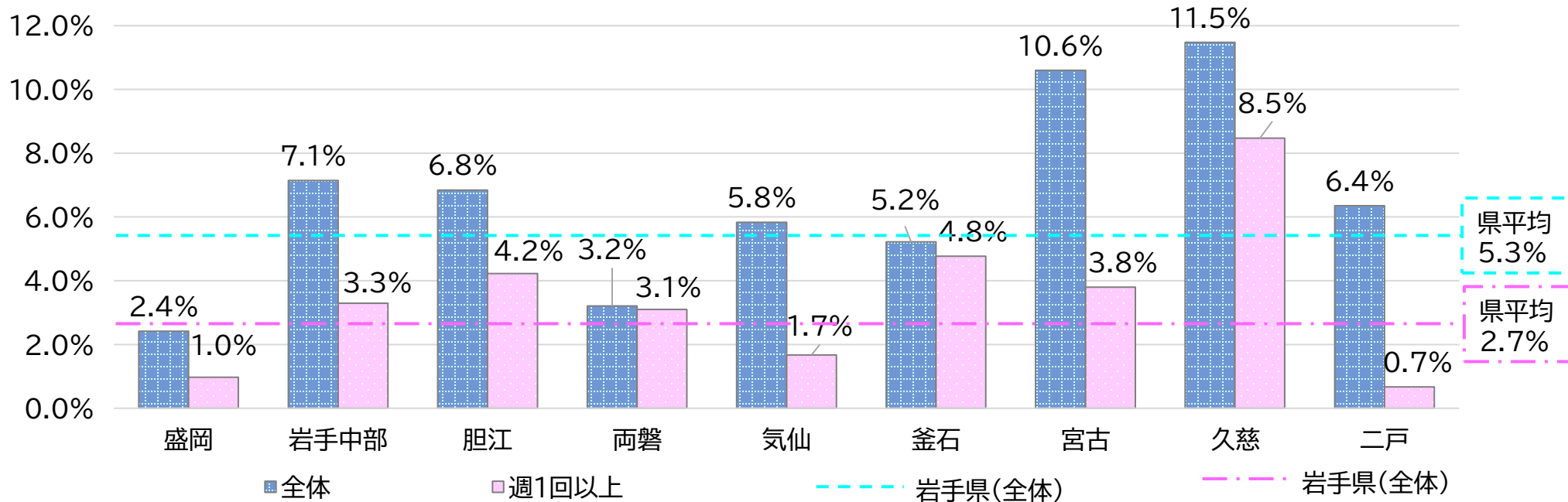
【参加率の推移】

※参加率：実参加者数／1.1現在の高齢者数

(%)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
全体	6.2	4.4	4.7	4.6	5.2	5.3
(週1回以上)	2.4	1.9	2.2	2.3	2.6	2.7

【令和6年度 参加率（圏域別）】



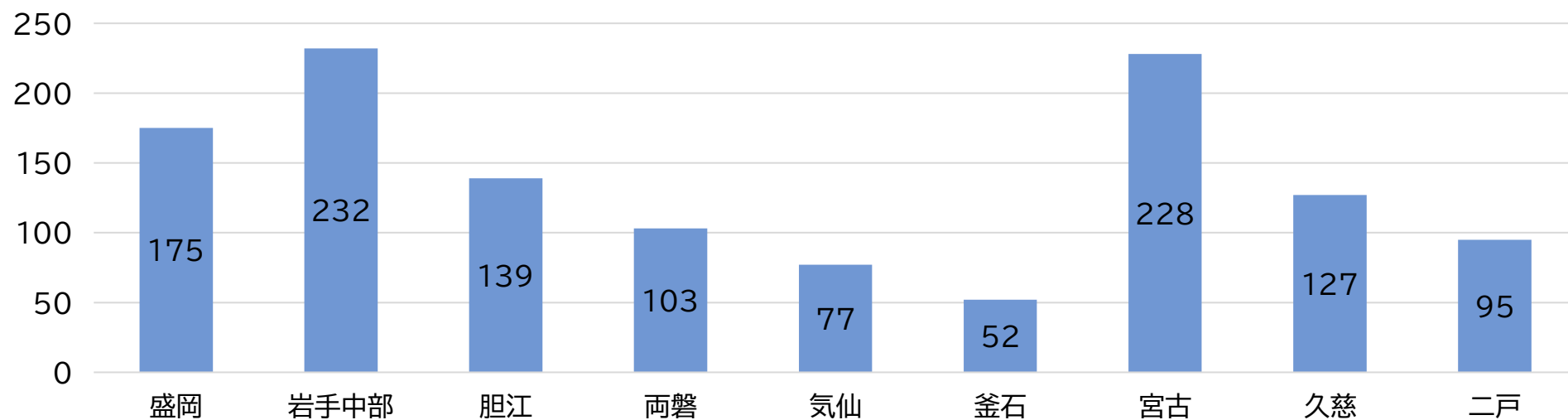
通いの場における活動内容

【活動内容の推移】

※ 活動内容として複数を組み合わせて実施している場合、最も活動内容に近いもの又は活動時間を費やしているもの

	体操 (運動)	会食	茶話会	認知症 予防	趣味 活動	農作業	生涯 学習	ボラン ティア 活動	就労的 活動	多世代 交流	その他	合計
令和2年度	760	67	287	13	129	5	136	1	0	0	6	1,404
令和3年度	1,041	32	168	11	116	2	110	1	0	0	22	1,503
令和4年度	1,063	18	97	7	124	6	8	4	0	0	146	1,473
令和5年度	1,162	63	206	12	124	4	4	4	0	0	165	1,744
令和6年度	1,228	61	202	13	124	4	8	6	0	0	150	1,796

【令和6年度 体操（運動）を実施している通いの場の箇所数（圏域別）】



専門職の住民主体の通いの場への派遣状況(令和6年度・圏域別)

職 種	盛岡	中部	胆江	両磐	気仙	釜石	宮古	久慈	二戸	計
医師	7	0	0	0	0	0	0	0	1	8
歯科医師	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
薬剤師	4	0	0	0	4	0	0	0	0	8
保健師	1	26	0	0	0	0	0	0	247	274
看護師	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
理学療法士	22	91	18	3	11	0	28	56	3	232
作業療法士	18	13	6	2	5	0	5	63	10	122
言語聴覚士	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
管理栄養士 ・栄養士	4	64	0	0	0	0	0	0	0	68
歯科衛生士	6	0	0	0	0	19	1	7	129	162
その他	0	255	1,826	0	10	71	111	51	0	2,324
計	62	449	1,850	5	32	90	145	177	393	3,203

介護予防・日常生活支援総合事業(地域支援事業)の実施状況(令和6年度実施分)に関する調査結果(速報値)より

4 .地域リハビリテーションに関連する課題と対応について

市町村における地域リハビリテーションに関連した課題とその対応

市町村における共通課題

具体例

市町村における対応例

県における対応策

1

専門職の確保

- 地域に専門職が少なく、介護予防事業への対応が困難な場合がある
- 地域の関係機関の人手不足により、地域ケア会議への出席が難しい場合がある

- 広域支援センター、職能団体を通じて近隣市町村へも派遣協力を依頼
- 地域ケア会議の年間計画立案時に、共催可能な会議との調整を検討

- 自立支援型地域ケア会議に係る専門職派遣調整ガイドラインの活用
- 地域リハビリテーション広域支援センターによる専門職派遣
- シルバーリハビリ体操指導者養成事業による人材育成支援

2

多様化するニーズへの対応

- 要支援者や事業対象者のニーズとマッチしたサービスの提供
- 抽出された課題に対し、地域資源に限りがあり、ニーズにマッチする資源の創出が容易ではない

- 個別地域ケア会議や地域包括ケア会議において検討
- 関係機関・団体へのヒアリング等による地域資源の整理と地域リハビリテーション活動支援事業の活用
- 生活支援コーディネーターの活用により生活支援ニーズを把握し、地域資源とのマッチングを行う
- 委託事業所等との協議

- 地域リハビリテーション支援体制整備推進事業を通じた専門職の確保の促進
- 地域包括ケアシステム関連取組状況調査のフィードバックによる県内の介護予防取組状況の情報提供
- 保健所及び地域リハビリテーション広域支援センターは地域課題に応じた研修会を実施

3

事業参加者数の伸び悩み

- 高齢者の通いの場への参加者の減少（高齢化、新規参加者がいない）
- 訪問サービス事業を総合事業移行後、新規利用者が増えない
- 男性参加者が少ない

- 広報誌等による周知、地域団体の集会・行事等での周知を行うとともに、介護支援専門員等にも情報提供
- 男性を対象とした事業の実施（料理教室、健康麻雀等）

- 介護予防のための地域づくりアドバイザーの派遣による情報提供
- 介護予防情報交換会の開催による情報共有